

人と人、人と自然のつながりを学び、 主体的に環境に関わろうとする東っ子

身近な自然環境である葉山川での環境学習を基点に、地域の自然や人を愛し、みんなが幸せに生活するために、環境に配慮した暮らしや行動の仕方について考え、主体的に環境に関わろうとする子どもの育成をめざす。

1 学校の概要

本校は、京阪神のベッドタウンとして人口が急増している草津市に位置する。

平成17年度よりエコ・スクールの実践校の指定を受け、校区に流れる葉山川を中心とした環境学習を重ねてきた。平成19年には淡海こどもエコクラブ大賞を受賞し、近年はFBC（フラワーブラボーコンクール）にも毎年参加し、自然や生き物とのふれあいを体験する学習を積み重ねてきた。また、平成24年度から3年間「しが環境教育リーディング事業」の指定を受け、環境学習に重点を置き、地域の方々と共に取り組んだ。平成25年には環境省より環境保全功労者表彰を受けた。現在も「葉山川学習」（環境の学習）を継続して行っており、環境問題への関心は高い。

2 「エコ・スクール笠縫東」の取組

(1) 環境への関心と地域への愛着

社会では、地球温暖化、水質汚濁など、様々な環境問題がメディアに取り上げられている。

それらの問題は何か一つを変えれば解決するような問題ではなく、様々な立場の人と協力しながら少しずつ解決していかなければならない問題である。一人ひとりが自分勝手な考えを改め、相手の立場に立って行動したり、将来を見据えて行動したりする事が大切である。

本校が進める環境学習のねらいは、人と人、人

と自然のつながりを学び、学ぶ楽しさを知る中で、環境への関心や地域への愛着を深め、身近な環境に対して主体的に関わろうとする力や態度を育むことにある。

(2) エコ・スクールは、地域とのつながりによって支えられている

本校の「環境学習」は「自然環境」という意味だけでなく、「地域・人」も含め、「自然・地域・人」を広い意味での「環境」ととらえている。

一年間を通して、地域の方々にお世話になりながら地域の川である「葉山川」を基点に、1年生～5年生が、生活科・総合的な学習の時間を中心に環境学習（葉山川学習）に取り組んでいる。大人も子どもも楽しく集いながら環境学習を進めており、この学びの過程において、子どもたちと地域の人々との「つながり」を特に重要視している。

また、地域には、子どもの学習をサポートする地域の力「地域協働合校推進協議会」があり、特に、エコスクールについては「エコスクール支援委員会」を年2回開き、学校と地域とが連携して学習を進めるだけでなく、地域の取り組み内容や、昔の地域の様子などたくさんのことを教えていただいている。このように地域との二人三脚により、本校の環境学習は進められている。

(3) 6年間を通した取組

1年生では、生活科の学習で、地域の方の協力を得ながら、葉山川周辺にある草花や生き物に親しみ、草や実を使ってどんな遊びができるかを学んだ。『秋遊びをしよう』の学習では、いろいろな草花を飾ってオリジナルの帽子を作ったり、どんぐりを使ったどんぐりごまで遊んだりする活動をして、自然のおもしろさに気づいた。葉っぱを使って10円玉がピカピカになったときには、子どもたちの驚きの声が上がった。

身近な自然に触れながら、草花や生き物に興味を持つことができた。遊びを通して学んでいる。

2年生になると、どんなところにどんな草花が生えているのか、手ざわりやにおい、形はどうか、など、特徴を捉えながら身の回りの自然環境に触れている。実際に植物や生き物に触れることで、季節の移り変わりによって植物の様子が変わったり、見られる生き物が変わったりすることに気づくことができた。



1年生：「秋遊びをしよう」



2年生：秋みつけ

3年生では、理科の学習と併せながら、生き物探しに出かけた。地域の方に、生き物について教えてもらいながら観察をしたり、捕まえたりした。不思議に思ったことや、分からないことが出てきたときは進んで質問したり、自分たちで調べたり

することで、葉山川の生き物について学ぶことができた。また、「草津あおばな会事務局」からあおばなの苗をいただき、あおばなを育てた。「草津あおばな会」の方などに来ていただき、あおばなの栽培についての話を聞いたり、あおばなでの色塗りの体験をしたりするなどした。



3年生：あおばな体験

4年生では、葉山川をスタートとして、地域の環境を守るために、自分たちにできることを考えた。1学期は、今の葉山川の様子について地域の方からお話を聞いたり、実際に旧葉山川のなごりを見つけに出かけたりして、今の葉山川があるのは昔の人々の努力によって作られた物であることを学んだ。2学期には、昔の葉山川がすぐに氾濫してしまう理由となった森林に目を向け、森林の役割や身近な環境問題を調べていった。学習を通してこうした環境問題を解決していくためには、自分たちにできることを考え、努力や行動をしていくことが大切であると気づくことができた。そこから「自分たちにできること」として、環境啓発の映像を撮影し、発信していく活動を子どもたち自ら考え、取り組んでいった。



4年生：環境啓発のための撮影会

5年生では、「身近な環境について考えよう」をテーマに、学習に取り組んできた。1学期には、地域の方から米作りについてのお話を聞き、米作りにおける環境への取り組みを学んだ。また、2学期には、地域の方々に協力していただき、葉山川の生き物調査を行った。身近な川にも外来種が生息していることを知り、自分たちには何ができるのかを考えるきっかけとなった。さらに、フローティングスクールでは、「水のよごれ回復実験」や「よしペン作り」などのびわ湖環境学習を通して、人間と生き物がよりよく共存していくことの必要性や環境を守っていくことの大切さを知り、今後の自分の生き方や関わり方について考えることができた。



5年：生き物調査

6年生では、1学期に公害（水俣病）についての学習を行った。人の健康や命よりも会社の利益を優先した結果、水俣病が発生した経緯の学習を通して、公害問題発生時の社会構造について学んだ。さらに水俣病の患者さんや周りの人など、それぞれの思いを知ることで差別の構造にも気づくことができた。この学習を通して、自分たちの生活を捉え直し、自分はどうあるべきかを考えた。

また公害発生時の地域の様子等をより正しく知るために、今までにお世話になった地域の方（草津塾さん）を招いて話を聞いた。当時の様子だけでなく、草津塾さんが環境を守るためにどのような思いで活動をされているのか、また「草津塾」を立ち上げるにあたって、困ったことや苦労したことについての話も聞いた。そこから「誰かのために活動する」草津塾としての生き方についての話を聞き、自分たちの抱える課題にどのように向き合っていくかを考えた。



6年生：葉山川に関わる地域の方の生き方に学ぶ

（4）委員会活動での取組

本校には「エコロジー委員会」があり、委員会活動においても環境活動を進めている。1学期は、ビオトープに生息する生き物調査を行った。メダカをはじめとする様々な生き物が生息することに気づいた。

2学期には、学校内のごみ拾いを行った。隅々までごみ拾いをする中で、たくさんのごみが見つかったことに驚き、自分たちが率先して学校の環境を守っていくことの大切さに気づいた。また自分たちが気づいたことを全校児童に放送で発信することで、みんなで環境を守っていくことの大切さを呼びかけた。

3学期は、ビオトープ付近に建てられた看板の修繕を行った。みんながもっとビオトープに行ってみたくるように、看板の絵を工夫して描き、新しく作り変えることができた。



生き物調査



校内清掃活動

3 ふるさと葉山川博物館での学芸員タイム

毎年地域で開催されている学区民のふれあいまつりの日に「ふるさと葉山川博物館」を開館している。毎年多くの来館者があり、一方的に展示物を見せるのではなく、子どもたちが「子ども学芸員」として、双方向のやり取りを意識しながら発表している。しかし、今年度はコロナ感染症防止対策のため、実施できなかった。

4 発表の場を設ける

ふるさと葉山川博物館だけでなく、草津市で行われた「草津市こども環境会議」にも、毎年参加している。こちらも今年度は参加することができなかったが、学校内だけにとどまらず、このような場で子どもたちの学びを発信していきたい。

5 おわりに

葉山川学習で出会った地域の人々とのつながりを通して、子どもたちは葉山川周辺の自然だけでなく、人との関わり方など身近な環境から大切にしていくことの重要性を学んでいる。地域の自然をテーマにした環境学習は、持続可能な地域づくりであり、町づくりである。子どもたちがそこから学ぶ楽しさを知り、地域の人と楽しく集う関係を作るとともに、自分の住む町に愛着や誇りを持ち、自ら主体的に環境や周りの人々に働きかけていく力を身に付けていくことこそがその第一歩である。今日まで築いてきた地域の方々とのつながりを今後も大切にし、自分から地域の環境に働きかけていける子どもを育てていきたい。

学校名： 草津市立笠縫東小学校

住所： 草津市平井3丁目8-1

電話番号： 077-564-4391

E-mail: info@kasanuihigashi-p.sk.ed.jp